

# 1.

## 災害 DA 展示

(エントランス、だんだん広場)

フォトグラメトリ、衛星画像・航空写真、デジタルアース、VR・AR などの最先端技術を利用した災害デジタルアーカイブの取り組みを上映展示します。これらの技術により、高精度な被災地の再現や詳細な災害状況の記録が可能となり、復興支援や防災教育に大きく貢献することができます。



12:00  
|  
17:00

# 2.

## これからの活用を考えるシンポジウム

(だんだん広場)

「能登半島地震アーカイブ (仮称)」を含めた災害 DA を今後社会的にどのように活用し、継続的に発展させていくか、地元関係者、技術、社会、経済、教育等様々な観点から率直な意見交換を行います。

### ①ご挨拶 (10分)

主催者挨拶  
渡邊 英徳 (東京大学 教授)

### ②オープニングアクト (90分)

登壇者  
小松 尚平 (東京大学 特任研究員)  
清水 雅楽乃 (アステナホールディングス株式会社 常務執行役員)  
上甲 鉄 (読売新聞写真部 記者)  
鈴木 聡 (NHK メディアイノベーションセンター)  
素都 明子 (石川県 知事室戦略広報課 課長)  
羽生田 文登 (Code for Noto 代表)  
渡邊 英徳 (東京大学 教授)  
(50 音順・敬称略)

### ③会場からのご発言 (15分)

※アンケートツールを活用

### ④ご挨拶 (5分)

主催者挨拶  
高見 信三 (株式会社 QUICK 代表取締役社長)



# 3.

## DA 技術・リテラシー取得のためのワークショップ (第1回)

(だんだん広場)

地域の皆さんが主体となって収集した写真や映像、体験談などの貴重な記録が、今後は災害の実態をより深く理解するための重要な資源となっていきます。本ワークショップは、市民参加の DA 構築と活用のための技術を身につけるため、石川県民のあらゆる世代を対象に継続的に行なうワークショップ・シリーズの第 1 回となります。今回は災害データをもとにした「デジタルマップ」と「AR アプリ」の作成法を学びます。

10:00 - 12:00

デジタルマップ作成  
(持ち物: PC)

15:00 - 17:00

AR アプリ作成  
(持ち物: PC + スマホ)

